

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	マリエルイズ美容専門学校
設置者名	マリエルイズ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	本科（昼間部）	夜・通信	1537	80時間×2 160時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

マリエルイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆（閲覧方法は、HPにて掲載）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	マリールイズ美容専門学校
設置者名	マリールイズ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆（閲覧方法は、HPにて掲載）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ヘアサロン経営者	2023年4月 1日～2027 年3月31日	美容師育成 アドバイザー
非常勤	医療器具販売会社社長	2023年4月 1日～2027 年3月31日	経営に関する アドバイザー
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	マリールイズ美容専門学校
設置者名	マリールイズ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ●授業計画書を前年度の3月初めまでに検討を行う。 ●3月末までに授業計画を行い、校長を含み教職員会議にて内容を協議し精査する。 ●教職員会議後、修正を加え入学式までにシラバスとして公開準備を行う。 ●入学式後の4月中に公開する 	
授業計画書の公表方法	マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆ (閲覧方法は、HPにて掲載)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- 課目出席認定
 - ① 所定授業出席時間を満たしている課目に対して認定する。
 - ② 所定授業出席時間数不足の場合、一定の時間以内であれば補講を行い認定する。
- 課目成績認定
 - ① 課目成績は、各教科終了時もしくは各学期終了時に試験及び認定課題にて認定する。
 - ② 合格点は各科目共通で6割以上を合格基準とする。
 - ③ 合格基準に達していない学生は追試、認定課題の再取組みを行い、6割以上で合格とする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- 学業成績は試験および認定課題による評価をする。
100点法とABCDEランクにより、その素点を評価点とする。
(A-90点以上、B-75点以上、C-60点以上、D-59点以下、E-未完成)
59点以下及びD、Eランクは追試及び、認定課題の再取組みを行い、60点以上もしくはCランク以上にて認定する。
- 授業中の課題、発言等で授業内容を理解したと担当教務が認めた場合は「認定済」と評価する。
- 出欠状況は所定授業出席時間を満たしていない場合は補講にて補う。

学業成績、出欠席状態を教職員会議にて各部署に周知しフォローアップができるようにしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧
◆ (閲覧方法は、HPにて掲載)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- 進級、卒業の判定は、判定会議で決定する。
- 本校所定の学科、実技の単位を修得し、かつ教科外の教育活動において、その成果が満足できると認められ、学費その他卒業費用など全納されている場合、卒業を認定する。
- 単位が不足している者に対しては、各々個人の事情や状況を再確認したうえで、進級及び卒業延期、又補講等処置を決定する。
- 単位が不足している者でも、特別正当な理由が判定会議で認められる場合には、特別指導を行い再判定し、その結果卒業を認めることがある。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧
◆ (閲覧方法は、HPにて掲載)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	マリールイズ美容専門学校
設置者名	マリールイズ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆（閲覧方法は、HPにて記載）
収支計算書又は損益計算書	同 上
財産目録	同 上
事業報告書	同 上
監事による監査報告（書）	同 上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	本科（昼間部）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間／単位	726 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1371 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		70人	0人	8人	12人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）様式第2の3に記載した内容を参照
成績評価の基準・方法 （概要）様式第2の3に記載した内容を参照
卒業・進級の認定基準 （概要）様式第2の3に記載した内容を参照
学修支援等 （概要） 担当教員が各学年の成績評価及び出席状況を把握し、面談を行い、個別に学習支援ならびに進路指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (%)	27人 (84.4%)	5人 (15.6%)
（主な就職、業界等） 美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロン、ブライダルサロン等			
（就職指導内容） 個人面談、就職ガイダンス、接客マナー講習等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許、ネイル検定、カラー検定、化粧品検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	13人	17.3%
（中途退学の主な理由） コロナの影響で不安症や自律神経の乱れの影響で学習意欲低下によるもの		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、教務、校長と個人面談をする。スクールカウンセラーとの面談を促す。保護者との連絡を取り合って連携をする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
本科 (昼間部)	150,000 円	360,000 円	390,000 円	他教材費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
各学年にグループ会社より成績優秀者への奨学金制度あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆ (閲覧方法は、HP にて掲載)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 美容関係および関係企業、教育関係等から委員を適切に構成し、カリキュラム内容、学校運営等についてそれぞれの立場において 審議していただき評価をしてもらっている。 そして評価結果を校長含む教職員会議にて報告を行い、次年度の学校運営に反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元都立高等学校 校長	2022年4月1日～2025年3月31日	振興会 運営委員
ヘアサロンオーナー	2022年4月1日～2025年3月31日	学識者
建設関係 会社社長	2022年4月1日～2025年3月31日	本校整備担当会社社長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆ (閲覧方法は、HP にて掲載)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) マリールイズ美容専門学校事務室にて閲覧 ◆ (閲覧方法は、HP にて掲載)
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113310400088
学校名	マリールイズ美容専門学校
設置者名	マリールイズ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		14人	11人	14人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				14人
(備考) 前半期採用14名、うち前半期退学者2名、前半期支援停止1名				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。